

### 1. 事業概要

#### 1)流域の概要

奥田川は北九州市門司区奥田1丁目地内に位置し、大川の右支川を流れる流域面積0.031km<sup>2</sup>、現況溪床勾配1/2.3の溪流である。また、奥田川の下流域は、土砂災害警戒区域等に指定している。

#### 2)事業の必要性

本溪流は、平成30年度7月豪雨により、下流域の道路に土砂が流出し、上流域では、溪岸浸食や荒廃が確認され、流出土砂や流木が堆積している状況にある。

本流域の下流には、人家110戸や北九州都市高速道路、県道等の公共施設が多数存在し、土石流が発生すれば、被害は甚大なものになると推測される。

そのため、当事業により砂防堰堤及び溪流保全工の整備を行うことで、土石流等による被害軽減を図るものである。

#### 3)事業により期待される効果

##### (1)事業効果(災害関連事業等を含む)

保 全 人 家 : 110戸

公 共 施 設 : 北九州都市高速道路・県道・市道・その他道路

##### (2)費用便益比(災害関連事業等も含む)

費用便益比(B/C) : 25.46

### 2. 現在の状況

土 砂 災 害 防 止 法 : 土砂災害警戒区域の指定済

現 況 溪 床 勾 配 : 23.7° (1/2.3)

災 害 履 歴 : 平成30年7月

### 3. 計画内容

#### 1)計画の内容

計 画 施 設 : 砂防堰堤N=1基・溪流保全工L=24m

事 業 年 度 : 令和2年度～令和8年度(7年間)

全 体 事 業 費 : C=285百万円

計 画 流 出 土 砂 量 : 2,121m<sup>3</sup>

土 砂 整 備 率 : 現況0%→計画100%

#### 2)上位計画との整合

整備計画等への位置づけ : 福岡県地域防災計画に土砂災害危険箇所「土砂災害(特別)警戒区域」として位置づけている。

### 4. その他特記事項

#### 1)事業に対する要望・協力体制

事業に対する要望書が提出されており、土地の立ち入りなど円滑に進んでいることから、地元の協力体制は整っている。

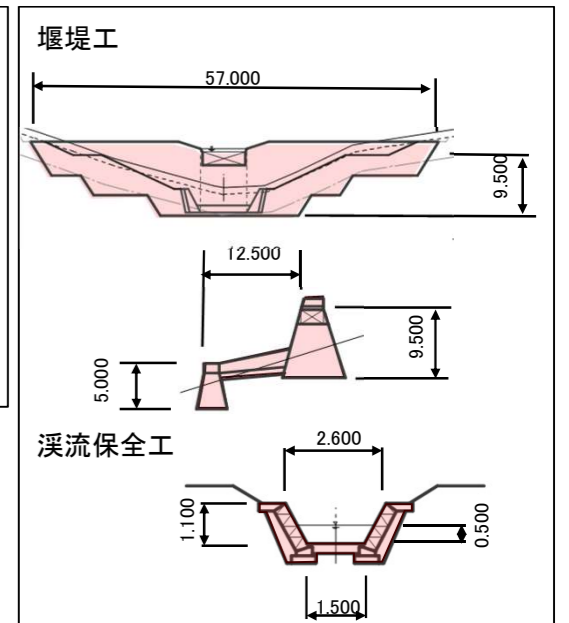
### 【位置図】



### 【管内図】



### 【構造図】



### 【事業概要図】

